

令和5年度 第1回太子町子ども・子育て会議 議事要録

日時:令和6年1月23日(火) 午後3時～

場所:太子町立万葉ホール

■出席者

委員:河野委員、小島委員、田辺委員、地村委員、金谷委員、森委員、松井委員、立石(友)委員、
立石(賀)委員

※会長、副会長は推薦にて決定されたため、
今回は河野委員、森委員としています。

事務局:健康福祉部長、いきいき健康課長、子育て支援課長、課長補佐、主査、福祉介護課長、
教育総務課長、課長補佐、生涯学習課長

■欠席者

朝山委員、長野委員、西野委員

■次第

開会

1. あいさつ

2. 委員紹介

3. 事務局紹介

4. 会長・副会長の選任について

5. 議題

(1)第2期太子町子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

(2)第3期太子町子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査票(案)について

6. その他

閉会

■開会

■1. あいさつ

・副町長あいさつ

■2. 委員紹介

■3. 事務局紹介

■4. 会長・副会長の選任について

・事務局より河野委員を会長、森委員を副会長に推薦

・委員から承認

・会長あいさつ

■5. 議題(1)第2期太子町子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

・事務局より資料に基づいて説明

【質疑応答】

- 委員:利用者支援事業の計画値が実施しているか所の数となっているが、利用した延べ人数等も入れていただくと実態が分かりやすいのではないかと。
- 事務局:そうさせていただきます。
- 委員:乳児の全戸訪問事業は、実態として全戸に訪問できているのか留守等で訪問が叶わなかったケースがあったりするのでしょうか。
- 事務局:保健センターで事業を実施しており、すべての乳児に訪問できている。
- 委員:P. 4 の基本目標1施策の方向(1)No.48 の入学祝品贈呈事業について、令和5年度以降の実施計画が小学校が 92 名、中学校が 108 名となっているが、これは太子町内の小中学校に入学する児童のことか。
- 事務局:入学祝品贈呈事業については、小学校と中学校の新一年生に図書カードを贈呈する事業で、町立小中学校に入学する児童が対象となっている。
- ※後日、改めて確認したところ、入学先を問わず、すべての児童が対象となっています。お詫びして訂正します。各委員には事務局より報告済みです。
- 委員:基本目標1施策の方向(1)No. 1の子育て世代包括支援センターの進捗で、就学することで支援が途切れてしまうことがあると記載されているが、この改善策で取り組んでいることはあるか。
- 事務局:0歳から幼稚園・保育園、小学校と成長していく中で、発達がゆっくりな児童等に対して検診等で関わり、町で作成しているサポートブックを保護者に渡している。サポートブックには子どもの行動等を記録して残してもらい、幼稚園・保育園から小学校、中学校と情報共有を続けていくことで、切れ目のない支援につなげられるのではないかと考えている。
- また、中学校までは町立の学校があるが、それ以降は町立ではない学校へ行くこととなるため、学校との関係性を構築することが簡単ではなく、18 歳まで切れ目のない支援をどのようにしていくかは課題となっている。
- 委員:基本目標3施策の方向(2)No. 15 の発達障がい巡回相談事業について事業評価が3となっているが、私はこども園で保護者相談や子育て支援等のカウンセラーを定期的に行っており、障がいがあるまたは障がいの疑いのある児童の保護者の相談を受けることが多い。そのため、巡回相談は非常に大事だと思う。巡回相談について、幼稚園・保育園では定着しているとのことだが、小中学校でも大事な活動だと思うので、周知の具体的な内容として、どのようにすれば切れ目なく事業が展開できると考えているか。
- 事務局:幼稚園・保育園では臨床心理士による巡回相談を定期的に行っている。保護者

の許可を得て、小学校にあがる際に情報共有もしており、小学校の先生等には巡回相談があることは認識されている。中学校でも同様の状況で、町の子育て支援課との連携はとれている。今後も連携を強化していきたい。

■5. 議題(2)第3期太子町子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査票(案)について

・事務局より資料に基づいて説明

【質疑応答】

- 委員:この調査は毎年実施しているのか。
事務局:この調査は計画策定時に実施しているため、今回は5年前の平成 31 年に実施した。
- 委員:小学生児童保護者用調査票にはヤングケアラーに関する設問があるが、就学前児童保護者用調査票には入っていないのは何故か。
事務局:ヤングケアラーは何歳から該当するのかという定義が難しく、一般的なイメージでは小学校高学年くらいからが該当すると考えられるため、小学生児童保護者用調査票には入れさせていただいた。就学前児童に関しても含まれないことはないかもしれないので、皆さんのご意見をいただければと思う。
- 委員:5年前の調査の回収率ほどの程度か。
事務局:就学前児童保護者が 37.4%、小学生児童保護者が 37.7%となっている。
- 委員:小学生児童保護者用調査票のP. 12に「地域」という記載があるが、「地域」とは太子町を指すのか、それとも住んでいる近所を指すのか。
事務局:「地域」が分かりにくいかもしれないということはこちらも認識していた。事務局では「地域」は太子町内と考えている。「地域」を削除すること等も検討している。
- 委員:太子町内なのか、住んでいる近所なのかが分からなかったのだが、「(太子町)」とかを入れれば分かりやすくなるのではないか。これは、太子町外は入らないということが良いか。
事務局:太子町内での自然活動等について回答してもらう想定なので、「地域(太子町内)」と入れさせてもらった方が分かりやすいかもしれない。
- 委員:第2期の時のアンケート調査は紙の調査票で実施しており、今回はWEBアンケートとなるが、回収数等をどの程度見込んでいるのか。
事務局:紙の調査票が良いのか、WEBアンケートが良いのか悩んだところ。紙の調査票の場合は印刷や郵送等にかかる費用等のマイナス面があるが、回答者は全体の設問数等を簡単に把握することができる。WEBアンケートの場合は簡単に回答ができる反面、1問ずつ表示されるので全体は把握しづらい。
回収率がどうなるかはやってみないと分からないところがあるが、少しでも回答してもらえよう周知に努め、前回の回収率を下回らないようにしたい。

委員:WEBアンケートの場合は、途中でやめたかどうかは分かるのか。どの設問で止めたかが分かれば今後の検討に使えるのでは。

事務局:前提として、途中で止めた方が再度アクセスした場合、続きから再開されるようになっている。途中までしか回答していない状態で回答期間が終わった場合、そこで回答を止められた方と考えられる。

委員:就学前児童保護者用調査票のP. 3の間8について、ファミリー・サポート・センターの説明があるが、「幼稚園・保育園等の送迎」のニーズが一番多いと思うので、「送迎」についても入れた方がニーズの掘り起こしにつながるかもしれない。

事務局:その形で追加させていただく。

■6. その他

■閉会